

1 第25回参議院議員通常選挙

第25回参議院議員通常選挙は、令和元年（2019年）7月4日に公示され、7月21日に執行された。

今回の通常選挙は、平成から令和への改元後、初の国政選挙であり、21世紀生まれが選挙権を有する初めての大型国政選挙でもあった。

平成30年の公職選挙法の一部改正（比例代表の定数4増、埼玉県選挙区の定数2増による定数較差是正）に伴い、今回の選挙の改選定数は、比例代表で2増、選挙区で1増となった。また、同改正において特定枠制度が導入されて以来、初めての通常選挙となった。

比例代表と選挙区を合わせた改選数124に対して370人が立候補し、与党（自民、公明）が安倍政権の成果等を訴えたのに対し、野党4党（立民、国民、共産、社民）は前回の通常選挙同様全ての1人区に統一候補を擁立して消費税率引上げ中止等を訴え、選挙活動が行われた。

投開票の結果、与党が改選議席の過半数を維持したものの、改憲に前向きとされる勢力が、非改選と合わせ、改憲の発議に必要な3分の2を割ったことが注目された。一方、非拘束名簿式比例代表制の導入以来初めて、公職選挙法等の政党要件を満たさない団体（れいわ新選組、NHKから国民を守る党）が比例代表の議席を得るとともに、政党要件をも満たすこととなった。

今回の通常選挙は12年ぶりに統一地方選挙と同じ年に行われた。投票率（全国平均）は、比例代表48.79%、選挙区48.80%となり、前回の通常選挙より、いずれも5.90ポイント下回った。期日前投票者数が約1,706万人（全投票者数の約3分の1）と過去最多となる一方で、平成7年の通常選挙に次いで、50%を割る低い投票率となった。

各党派別の獲得議席数は以下のとおりである。

党派	獲得議席数
自由民主党	57
立憲民主党	17
公明党	14
日本維新の会	10
日本共産党	7
国民民主党	6
れいわ新選組	2
社会民主党	1
NHKから国民を守る党	1
無所属	9
改選数計	124

(出典) 総務省自治行政局選挙部「第25回参議院議員通常選挙結果調」より作成